

セラミック系抗菌抗ウイルス塗料
AQ SHIELD ウイルスバスターNeo

AQ SHIELD ウイルスバスターNeo は、Si-O結合をベースとする湿気硬化型無機塗料です。
 硬化塗膜は、抗菌抗ウイルス性、撥水撥油性、離型性、耐候性や耐薬品性に優れています。

〈特徴〉

1. 撥水・撥油性に優れ、超離型性能があります。
2. 密着性が良く、各種基材に1コートで使用できます。(※事前に密着確認を行ってください)
3. 耐溶剤性や耐汚染性に優れ、塗膜は不燃性です。
4. 抗菌抗ウイルス性を有します。

〈塗装条件〉

塗 装 方 法	スプレー、刷毛・ローラー、Dipping など
膜 厚	3~8 μ m
塗 布 量	20~50g/m ²
指 触 乾 燥	30~60分(20℃)
常 温 乾 燥	24時間、完全硬化7~10日
強 制 乾 燥	70~80℃×30分、完全硬化は強制乾燥後、常温乾燥5日

〈塗膜性能〉

試験項目	試験条件	試験結果
硬 度	三菱鉛筆ユニを使用	5H
付 着 性 試 験	2mm方眼100個作成、セロテープ剥離テスト	100/100
耐 衝 撃 試 験	JIS K 5600-5-3 落球試験に準ずる。300g×500mm(直径25.4mm)	異常なし
耐 酸 試 験	5%硫酸水溶液スポットテスト、23℃×6時間	異常なし
耐 溶 剤 性	エタノール ラビングテスト(500g 荷重/10 往復)	異常なし
耐 温 水 性	40℃温水浸漬、100時間	異常なし
耐 汚 染 性	油性マジック(黒、赤)乾布拭取り	異常なし
	カーボンブラックにて汚染、汚染面と非汚染面の色差	$\Delta E=0.5$ 以下
耐 候 性	紫外線蛍光ランプ式促進耐候試験(UVB-313ランプ) 100時間後の光沢保持率	90%以上
耐冷熱サイクル	60℃×3hr \leftrightarrow -20℃×3hr (10サイクル)	異常なし

※ 素材:ボンデ鋼板 膜厚:6~8 μ m 硬化条件:80℃×30分乾燥後、室温下で5日間放置

※ 上記数値は参考値であり、規格値ではありません。

株式会社 AQ

本 社 / 〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目6-12 MIYUKI BLDG.7F TEL:03-6311-7674, FAX:03-6311-7675

米子研究所 / 〒689-3522 鳥取県米子市日下1239 鳥取県産業技術センター機械素材研究所内

〈抗菌抗ウイルス性試験〉

試験項目	試験条件	試験結果
抗 菌 性 試 験	JIS Z 2801(フィルム密着法) 緑膿菌 抗菌活性値	≥5.4
	JIS Z 2801(フィルム密着法) 大腸菌(O157:H7) 抗菌活性値	≥6.1
抗 か び 性 試 験	JIS Z 2801(フィルム密着法) クロカビ 抗かび活性値	2.7
抗ウイルス性試験	ISO 21702 A型インフルエンザウイルス 抗ウイルス活性値	≥4.6
	ISO 21702 ネコカリシウイルス 抗ウイルス活性値	4.0
	ISO 21702 新型コロナウイルス(SARS-Cov-2) 抗ウイルス活性値	≥3.2

※ 抗菌性試験、抗かび性試験、抗ウイルス性試験は、ポリカーボネート板にて試験

※ 日本繊維製品品質技術センター 神戸試験センター の試験成績証明書より抜粋

〈人体安全性試験〉

試験項目	確認事項	試験法	SIAA 安全性基準	結果
急性経口毒性	飲み込んだ時の有害性	ラット/マウスに対する単回投与試験	LD50が2,000mg/kg以上	2,000mg/kg 以上 基準適合
皮膚一次刺激性	長く触れた際の炎症など	ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験	P.L.I(一次刺激性指数)が2.00未満	P.L.I:1.3 基準適合
変異原性	DNA への影響	原則、Ames 試験	突然変異誘起性が陰性であること	陰性 基準適合
皮膚感作性	アレルギー	Maximization test	陰性であること	陰性 基準適合

※Ames 試験:自身でアミノ酸を作れない細菌が抗ウイルス剤の作用により、DNA 変異し、アミノ酸を作れるようになるか否かを確認する試験

※Maximization test:抗ウイルス剤を含む溶液を皮内注射し、一定期間後の皮膚反応を評価

塗装時の注意事項

- 塗装環境 ・通気性の悪い環境下での使用は避けてください。
- 前 処 理 ・素材表面の油分、水分、汚れは溶剤脱脂により十分に除去してください。
- 塗 装 ・塗装は速やかに行ってください。長時間放置すると目詰まり、塗リムラの原因となります。
・**膜厚は指定された範囲内になるよう管理してください。**
- 乾 燥 ・乾燥時に有機ガスが発生しますので換気、排気を十分に行ってください。
- 保 管 ・塗料は、冷暗所に保存してください。
・本塗料は空気中の水分と反応する性質がありますので、ご使用後は密栓してください。
- 廃 棄 ・塗料の使用残や廃液の処理は SDS(安全データシート)に従ってください。
- 取 扱 注 意 ・可燃性の有機溶剤を使用しているため火気のある所では使用しないで下さい。
・皮膚や粘膜、特に眼などに刺激性があるため接触しないよう十分注意してください。
・接触した場合は多量の水で洗浄してください。
- そ の 他 ・詳細な内容については、製品の SDS をご参照下さい。

株式会社 AQ

本 社 / 〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目6-12 MIYUKI BLDG.7F TEL:03-6311-7674, FAX:03-6311-7675

米子研究所 / 〒689-3522 鳥取県米子市日下1239 鳥取県産業技術センター機械素材研究所内